

ここはスキー天国

谷川周辺 仙ノ倉山シッケイ沢 山スキー

このところ天気サイクルが悪い。先週に引き続き今週の泊まりスキーの計画がまた潰れた。さて自分からも何か日帰りの提案をしなければと思ったところ、リーダーの頭の中には既にシッケイ沢があったようだった。

4月16日（日）：晴れ

朝からきっちり晴れている。昨日ここいらは雨が降ったはずだが、本当だろうかと疑うほどだ。火打峠に車を止めてヤカイ沢を目指す。今シーズンやっと平標デビューを果たした自分にとってこの有名ルートはもちろん初めてで、トレースがば



ヤカイ沢は広くてスキー向きだ

っちりついていようが何しろ新鮮なのだ。河内沢を渡ってヤカイ沢左岸尾根を緩く登り、斜度がだんだんときつくなる頃にクトーを装着。カチカチの急斜面を登り終えたら平標山に続く稜線に出た。まず平標山からの眺めは最高で、かねてから滑ってみたいと思っていた沢の源頭が丸見えだ。ああ、あそこも行かなきゃ、ここも行かなきゃと気持ちが膨らむ。そしていつものように、いつまでも眺めていたいと思う気持ちと早く滑り出したいという気持ちがせめぎ合う中での滑降準備だ。

まずは笹穴沢の源頭を軽く100mほど滑る。もっと滑っても良かったのだが、それは次回に取っかけておいて、今日は先を急ぐことにした。仙ノ倉山に続く稜線に登り返し、ブッシュや木道をうまく回避しながら雪を繋いで歩けば目指す山頂だ。ここでは北尾根を登ってきたはずの栗原Pとのプチ集合を期待したが、歩きパーティの行動時間は早く、会うことは叶わなかった（残念！）。さて、ここからが本番。シールを剥がして仙ノ倉山の北側のポコを回り込むと広大な斜面が広がっている。目指すシッケイ沢だ。滑り応えのあるダイナミックな斜面と快適なザラメに笑いが噴き出してくる。春スキーならではの豪快な滑りを楽しんだ後は自然と沢に吸い込まれ、枝沢からのデブリを避けたりストップ雪に悪態をついたりして変化を楽しみながら毛渡沢に合流した。

毛渡沢は割れてはいるものの、スノーブリッジを繋いで滑ることができた。ただしこれは今年の残雪の多さのおかげ

【日程】

2017年4月16日（日）

【メンバー】

田辺（L）、坂村、

田宮（RSSA）

【地形図】

三国峠、土樽

【記】坂村



快適なシッケイ沢源頭

げであり、例年だとこの時期は難しいだろう。そんな今年であっても1か所ズタズタのスノーブリッジの通過があり、冷や冷やさせられたのだ。

仙ノ倉谷に近い下流部では猟友会の方たちにお会いした。熊を一頭仕留めたばかりのようだった。充実した山行と暖かい日差しは常に皆を笑顔にする。「いつも黒い服を着ている〇〇さんがいたら撃たれちゃうよね～」などと談笑しながら、除雪の進んだ毛渡沢沿いの林道をスキーを背負って歩いた。



壊れかけのスノーブリッジ

【行程】 火打峠 (6:15) ～ヤカイ沢左岸尾根～平標山 (10:30) ～仙ノ倉山 (12:00/12:20)
～シッケイ沢～ 毛渡沢出合 (13:30) ～車道 (15:50)

